



# 栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



～学校教育目標～  
よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

令和4年度5月号  
令和4年5月2日

## スローガン「はぐくもう 栗原MIND」

校長 大井 敏彰

### 【スローガンに込めた想い】

令和4年度が始まってから、一ヶ月が経とうとしています。各ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしょうか。

本校では「外遊び」を奨励しています。業間休みには、学校に慣れてきた1年生も含め、ほとんどの児童が校庭に出て元気いっぱい遊んでいます。思い思いに校庭を駆け回る栗っ子たちを眺めながら、毎日元気をもらっています。

さて、本年度の学校スローガンは「はぐくもう 栗原MIND」です。「MIND」という単語には「心・精神」といった意味がありますが、4字のアルファベットそれぞれを頭文字として、下枠のような想いが込められています。

#### M【マナー】

お互いが気持ちよく過ごすために必要なこと

#### I【インディペンデンス】

自分で考えて行動すること

#### N【ノビリティ】

正しいことを考え実行すること

#### D【ディグニティ】

誰からも尊敬される行動をとること

これは、私が続けている柔道で提唱されている考え方です。十数年前、オリンピック競技として脚光を浴びながらも不祥事が続いた際、柔道の本質である「精力善用・自他共栄」の精神に立ち戻るため、このスローガンが示されました。

学校ではここ数年、コロナ禍における活動制限、一人一台端末の活用、教員の働き方改革など、様々なことが求められるようになりました。このような中であっても、栗っ子の健やかな成長を中心に据えて学校づくりに邁進できるよう、このスローガンを設定しました。

スローガンに込めた4つの想いは、学校の教育活動の中で、次のように具現化していきたいと考えています。

**M【マナー】**くりっこの誇り(あいさつ・返事、時間、もくもく清掃、外遊び)を継承しつつ、一つ一つの行動を相手意識や思いやりをもった行動へと高め、そのよさを広めていきます。

**I【インディペンデンス】**昨年までの6年間、学校研究課題を「主体的に学ぶ児童の育成」とし、「個の確立」を目指して取り組んできました。その成果を生かしながら、引き続き栗っ子の主体性を涵養していきます。

**N【ノビリティ】**コロナ禍により減ってしまった他者と関わる活動を少しずつ増やしながらか、学校生活の中で子供たちが「正々堂々と潔く」活躍できる場面を設定し、その態度を育みます。

**D【ディグニティ】**仲間のため、学校のために奉仕・貢献する活動を奨励します。下級生に範を示す行動や人に貢献する経験を通して、「人の役に立つ喜び」を実感させながら、栗っ子の自己有用感を育んでいきます。

保護者の皆様には、本スローガンの主旨を御理解の上、御家庭においてもお子さんに働きかけていただけると幸いです。どうぞ、よろしく願いいたします。

### 【1年生を迎える会】

27日(水)1時間目に、感染予防のため各教室に分かれて縦割り班ごとに実施しました。楽しい出し物やプレゼントをとおして、どの班も温かい雰囲気です。1年生を迎えることができました。



【R4.4.27 1年生を迎える会】